

赤い羽根共同募金〈10月1日より開始〉 ～いつもご協力ありがとうございます～



写真：岩見沢市赤十字奉仕団様
(令和元年度街頭募金活動の様子)

赤い羽根共同募金は、自分のまちを良くするしくみであり、誰でもできる気軽な地域貢献活動として各市町村単位で取り組まれています。

お預かりした募金は、岩見沢市と北海道の地域福祉活動を行うボランティアや福祉施設等の活動財源として、また、災害ボランティアセンターの運営費として大切に使われます。

住み慣れた地域で自分らしく暮らせるようなまちづくりを進めるため、今年もご協力をお願いいたします。

気軽にできる 地域貢献活動をはじめませんか？

募金箱や募金機能付き自動販売機を置いていただける企業・施設を募集中です！



おもいやりの募金活動

2020年 ご当地ピンバッジ



現在制作中！

※イラストはイメージ図です。

募金500円以上で
お礼として進呈！

岩見沢市限定

2020年は岩見沢市の市花である〈バラ〉をモチーフにしています。

製作費を除いた金額が募金となり、岩見沢市の地域福祉活動に役立てられます。

また、岩見沢市のPRにもつながりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

もくじ

- 表紙 — 赤い羽根共同募金・ピンバッジ PR
- 1～2 — 特集 ボランティアセンター
- 3 — 令和元年度事業報告・決算報告
- 4 — 令和2年度事業計画・予算概要
- 5 — 社協会費・寄付関係
- 6 — 成年後見支援センター通信
- 裏表紙 — 寄付のお礼・情報ひろば

特集

ボランティア活動の拠点！

ボランティアセンターについて

どんなところ？

岩見沢市ボランティアセンター（通称・ボラセン）は、岩見沢市におけるボランティア活動の普及・推進の拠点として社協が運営しています。

ボランティアコーディネーターの方々が、経験を活かして親身に対応してくれます。
つまり

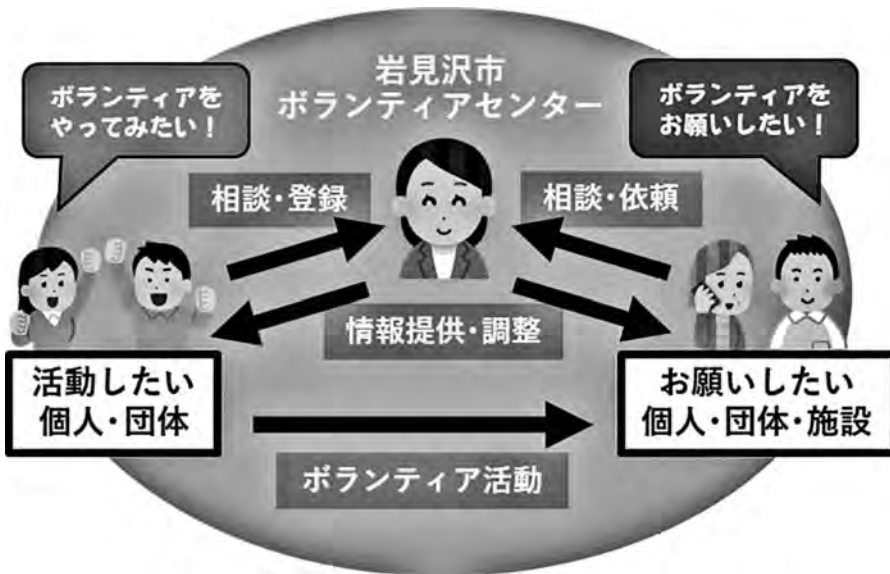
さまざまなボランティア活動を応援するところです！

ボランティアコーディネーターの役割

「ボランティア活動をしたい人」と「ボランティアの支援を求める人」の要望などを調整します。



現在はボランティアセンター長1名、コーディネーター2名の計3名が委嘱を受け、活動しています。



なにをしているの？

○ボランティア相談・調整
ボランティアをしたい方や支援を必要とする方などから寄せられる、さまざまな相談や情報提供・調整を行っています。



傾聴ボランティア講座



精神保健ボランティア講座



ガイドボランティア講座



ボランティア活動者交流会

○ボランティア講座の開催
ボランティア活動者の育成や資質向上を図ることを目的に、各種ボランティア講座等を実施しています。

※その他にも各種ボランティアの講座を実施しております。

車いす体験



ガイドボランティア体験



高齢者疑似体験



手話体験



点訳体験



○福祉教育支援
 児童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心と理解を深めるため、様々な福祉体験やボランティア活動の福祉教育の取組を支援しています。
 ●福祉体験学習
 学校が福祉の学習を行う際、要望に応じ講師やボランティアを派遣して、体験学習を実施しています。

その他、夏休み期間中の小・中・高校生を対象とした「児童・生徒のボランティア体験研修会」や教員や教育関係者を対象とした「指定地域福祉教育セミナー」を開催しています。

ボランティア活動保険のご案内

国内でのボランティア活動のけがや損害賠償責任を補償します！

《基本プラン》 350円
 《天災・地震補償プラン》 500円

※天災・地震プラン～基本タイプ+地震・噴火・津波

例えば…

ボランティアに向かう途中、事故に遭った。清掃中誤って花びんを落として壊した。など



ボランティアに関するご相談や、ボランティア講座を受講されたい方は、お気軽にボランティアセンターへお問合せください！



「おもいあい」年3回発行 無料配布中!

この「おもいあい」は、市内主要施設にも設置してありますので、見かけましたらぜひ手にお取りください。
 今回の紹介した事以外にも、ボランティアセンターに登録している団体・個人の交流や研修の場を設け、活動の推進を図っています。また、広報紙「おもいあい」を発行して、登録団体の紹介や事業の報告などを行っています。

まとめ

ボランティアセンタースタッフ

今回ご紹介した事業等を円滑に進めるため、ボランティアセンターのスタッフを募集しております。

募集要件

- 1 平日の日中で、週に1～2日程度活動可能な方
- 2 現在ボランティア活動をしており、ボランティア活動の推進に熱意のある方
- 3 岩見沢市内在住の方



この記事の問い合わせはボランティアセンターへ

《令和元年度 事業報告及び決算報告（概要）》

運営基盤の強化と人材の育成

- 第2期岩見沢市社会福祉協議会発展強化計画に基づき事業の実施
- 福祉サービスの供給体制の整備・充実
- 事業運営の透明性の向上・財務規律の強化
- 介護人材の確保・資質向上

福祉サービス事業の推進及び経営の健全化【重点】

- 居宅介護支援事業(ケアプラン作成)
- 訪問介護事業(ホームヘルプサービス)
- 居宅介護事業(ホームヘルプサービス(障がい))
- 相談支援事業(ケアプラン作成(障がい))
- 通所介護事業(栗沢・美流渡デイサービス)
- 通所支援事業(児童発達支援事業・放課後等デイサービス)
- 子ども発達支援センター事業

地域福祉の推進

- 地域福祉事業検討委員会(4回)
- 地域福祉懇談会の開催【重点】(延期)
- 移動心配ごと相談所の開設(年6回)
- 地域ふれあいサロン事業の支援(28団体)
- 金婚祝賀会開催事業(該当者368名・参加者170名)
- ボランティアセンター運営事業
 - ◇ ボランティア相談(33件)
 - ◇ ボランティア派遣支援(124人)
 - ◇ 広報紙「おもいあい」の発行(年3回)
 - ◇ 各種ボランティア養成講座の開催(5講座)
- 将来を見据えた福祉教育の推進
 - ◇ 児童・生徒のボランティア体験研修会の開催(参加者45人)
 - ◇ 指定地域福祉教育セミナーの開催(参加者19人)
 - ◇ 福祉体験学習の実施(22回)
- 生活困窮者等への支援
 - ◇ 生活福祉資金貸付事業(7件)
 - ◇ 愛情銀行緊急生活費交付事業(6件)
 - ◇ 法外援護事業への支援(76件)
- 地域における権利擁護の推進
 - 日常生活自立支援事業
 - ◇ 相談(1,315件)
 - ◇ 利用契約(18件)
 - 成年後見支援センター事業
 - ◇ 相談・申立手続の支援(822件)
 - ◇ 運営協議会・事例検討会の開催(1回・4回)
 - ◇ 市民後見人養成講座の開催(基礎編～受講者10人)(フォローアップ編～受講者12人)
 - ◇ 法人後見の受任(6件)
 - ◇ 法人後見支援員の活動(144回)
 - ◇ 法人後見支援員スキルアップ研修会の開催(出席者40人)
 - ◇ 成年後見制度講演会の開催(参加者120人)
 - ◇ 成年後見制度パネル展の開催
 - ◇ 成年後見制度無料出張相談会(相談者6名)
- 災害ボランティア現地対策本部の組織整備【重点】
 - ◇ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施(2回)
 - ◇ 災害用資機材の整備(リヤカー)

令和元年度 決算報告（単位：円）

収入科目	決算額
会費収入	3,900,800
寄付金収入	1,918,560
補助金収入	54,317,000
受託金収入	59,845,258
共同募金配分金収入	4,164,431
介護保険事業収入	120,665,254
障害福祉サービス等事業収入	52,766,720
事業収入	1,030,000
受取利息配当金収入	54,199
雑収入	2,797,988
事業収入合計①	301,460,210
積立資産取崩収入	24,989,755
前期繰越金	6,343,158
総収入額	332,793,123

支出科目	決算額
人件費	243,253,598
事業費	66,325,031
事務費	10,004,074
助成金	12,669,740
負担金	540,680
事業支出合計（総支出額）②	332,793,123

実質赤字 (①-②) ▲ 31,332,913

今期は実質的な赤字額が31,332,913円となっています。(①-②)
 年々「会費・寄付金」等の収入が減少しており、前年までの繰越金と積立金を取崩しながら事業を行っております。
 ～会費・寄付金等、多くの皆様からのご支援を
 お待ちしています～

《令和2年度 事業計画（重点事業）・予算概要》

重点項目1

運営基盤の強化と人材の育成

会費や寄付金、共同募金の配分金が減少傾向をたどっており、収支が悪化しているため、さらなる業務の効率化やコスト削減を行うとともに、安定的な自主財源の確保と法人運営、組織、事務局体制、人事、業務全般にわたっての総合的な見直しを行ってまいります。

重点項目2

福祉サービス事業の推進及び経営の健全化

当会が実施している居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業は、介護保険報酬改定等の影響から大きな減収となり、併せて通所介護事業では地域の人口減から利用者数も減少し、今後も厳しい経営状況が予想されます。

職員体制、サービス管理体制、運営形態等を詳細に検証し効率的な運営を行うとともに、利用者増に向けた取組みを一層強化し経営の健全化を目指します。

各サービス事業においては、利用者のニーズに沿ったサービス提供と法令を遵守した適正な運営を行うとともに、サービスの質的向上に努め、高齢者や障がい者の在宅生活を支援します。

重点項目3

災害ボランティアセンターの組織整備

① 災害ボランティアセンター体制の整備

災害ボランティアセンターを迅速かつ円滑に立ち上げるために、設置運営マニュアルに基づき、設置訓練を実施します。

② 災害ボランティアセンター研修会の開催

住民への防災・減災意識の啓発、災害時のボランティア活動や災害ボランティアセンターの運営支援者を養成することを目的に開催します。

③ 災害用資機材の整備

災害ボランティアセンターを円滑に立ち上げるために必要な資機材を整備します。

令和2年度 事業予算（単位：円）

収入科目	予算額
会費収入	3,782,000
寄付金収入	1,510,000
補助金収入	62,908,000
受託金収入	61,106,000
共同募金配分金収入	4,337,000
介護保険事業収入	130,192,000
障害福祉サービス等事業収入	54,025,000
事業収入	1,373,000
受取利息配当金収入	43,000
事業収入	2,984,000
事業収入合計	322,260,000
積立資産取崩収入	34,581,000
前期繰越金	67,000
総収入額	356,908,000

支出科目	予算額
人件費	258,246,000
事業費	73,723,000
事務費	11,387,000
助成金	12,877,000
負担金	675,000
事業支出合計（総支出額）	356,908,000

上記の事業予算に基づいて、皆様の会費や寄付金等を活用しながら、重点項目を中心に「支え合い 共に生きる 住みよい地域づくり」に取り組んでまいります。

この記事の問い合わせは総務課へ

社協が行う福祉活動は 市民の皆さまの支援によって支えられています

社会福祉協議会は、市民の皆さまに支えられながら活動する民間の福祉団体です。
地域福祉活動を進めるため、法人運営の資金や地域福祉事業活動の財源確保に努めています。

会員会費ご協力をお願い

一般会費 (町内会・自治会の会員)	1 世帯	100円
賛助会費 (個人で賛同された方)	1 □	1,000円
特別会費 (法人・事業所・団体など)	1 □	5,000円
企業会費 (株式会社・有限会社など)	1 □	10,000円

市民の皆さまと協働して地域福祉活動を進めるため、会員会費制度をとっています。

1 □から受け付けていますので、お気軽にお問合せください。



ご寄付の受付を行っています

寄付金や寄付物品は、社会福祉協議会の事業や運営を行う上で貴重な財源となっております。一人ひとりが地域で必要なサービスや支援を受けながら、いきいきと暮らし続けることができるまちづくりを進めるために、協力をお願いいたします。

なお、寄付物品の中にはお受けできないものもありますので、事前にお問い合わせください。

※社会福祉協議会は、社会福祉法人格を有していますので、金額に応じて個人の場合は所得税法上の寄付金控除が受けられます。また、法人の場合は法人税法上損金算入ができます。



◆活動内容◆

- 地域の見守り活動の支援
- 地域ふれあいサロン事業への助成
- 町内会の出前講座の開催
- ボランティア活動の普及・推進
- 小中高校のボランティア活動普及支援
- 福祉団体等の活動支援
- 金婚を祝う会の開催
- 災害ボランティアセンターの組織整備 など



皆さまのあたたかい支援に感謝いたします。

この記事の問い合わせは総務課へ

地域に貢献! 「生活支援員」大募集!

岩見沢市成年後見支援センターでは、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力に不安のある方に対して、福祉サービスの利用援助、公共料金の支払いや生活費の払い戻しといった日常的な金銭管理等を行う、日常生活自立支援事業を行っています。

この度、制度の担い手である「生活支援員」を市民の皆様から募集しますので、活動に興味のある方はぜひお問い合わせください。

生活支援員の募集要件

生活支援員は、岩見沢市民で、概ね次の要件に該当する方に登録いただいております。

なお、福祉資格の有無は問いません。

- ①市内在住で20歳以上の方
 - ②平日の月1～2回、1回につき1時間～2時間程度、活動可能な方
 - ③制度を利用する方の状況に応じた時間に活動が出来る方
 - ④社会福祉に関する基本的な知識や経験のある方
 - ⑤生活を支援する業務や社会貢献への熱意のある方
- ※活動費として、1回の活動につき950円。その他、交通費が支給されます。



生活支援員のお仕事拝見!

生活支援員として実際に活動している大橋 香（おおはし かおり）さんにインタビューを行いました。



生活支援員 大橋 香さん

この記事の
問い合わせは
岩見沢市成年後見
支援センターへ

Q 1 生活支援員として活動をしたいと思ったきっかけは?

私は、団塊の世代であり、次の世代の人たちにお世話になる前に、出来るうちに何かお手伝いできたらと考え、市民後見人養成講座を受講し、生活支援員の活動を知ったことがきっかけになります。

Q 2 具体的にどのような活動をしていますか?

月1回程度、利用者さんのご自宅を訪問しています。月々の収支（年金収入、家賃や電話料金などの支出）について確認し、金融機関で預金の払い戻し、諸々の支払いと生活資金の手渡しのほか、利用者さんの困っていることなどのお話を伺うことが主な活動になります。

Q 3 活動する中で心がけていること、注意していること。

利用者さんによって抱えている問題や考えはそれぞれ異なるので、出来る限り話をしっかりじっくり聞き取ること、決して上から目線にならないことを心がけています。

Q 4 これからの活動に向けた意気込み。

生活支援員の役割はわずかではありますが、利用者さんの笑顔に数多く出会えることを励みに頑張っていきます。

ご寄付ありがとうございます

佐々木 公子 30,000 円	桃井 幸子 30,000 円	岩見沢メープルライオンズクラブ 古切手・はがき・テレフォンカード	
辻 好弘 30,000 円	窪田 勝利 100,000 円		岩見沢市赤十字奉仕団 栗沢班 古切手・テレフォンカード
山田 香 30,000 円	星野 五十鈴 20,000 円		高橋 若菜・香織 布マスク
前野 延康 20,000 円	柳川 忠 100,000 円		令和2年1月1日から 令和2年4月30日までのご寄付 掲載承諾を得た方のみ
石若 満子 30,000 円	HSC萩の山スキークラブ 7,850 円		(順不同・敬称略)



情報ひろば



金婚を祝う会のお知らせ

市内に居住し、住民登録をしている方で、今年中に結婚 50 年を迎えるご夫婦の方は、該当者報告をお願いします。
(町内会を通して報告済みの方は必要ありません。)

◆該当者の要件

昭和 46 年に結婚されたご夫婦(数え 50 年)。または、昭和 45 年以前にご結婚され、過去に金婚を祝う会に申し込みされていないご夫婦。
(栗沢・北村地区は平成 18 年 4 月以降申込みされていないご夫婦)
※詳細については該当者の方へ直接ご案内いたします。

【お問い合わせ】地域福祉課 TEL22-2960

栗沢デイサービス無料体験利用のご案内

デイサービスが
どんなところか
体験してみたい!

他のデイサービス
と比較してみたい!



☆随時無料体験を受け付けています☆



♪月に一度『セラピー犬』もくるよ♪

【お問い合わせ】栗沢支所 TEL 45-4888

パートヘルパー募集中!!

勤務日数・時間など
相談に応じます。

【時給】

1,000 円～ 1,500 円
その他、処遇改善手当が
あります。
詳しくはホームページを
ご確認ください。

50代・60代
活躍中!



【お問い合わせ】訪問介護事業所 TEL 25-6229

車椅子の寄贈 ありがとうございます!

(株)ツルハホールディングス様とクラシエホールディングス(株)様は、共同キャンペーンの売上の一部で車椅子を購入し、社会貢献活動の一環として、この度、岩見沢市社協へ車椅子 1 台を寄贈いただきました。



感謝

岩見沢市社会福祉協議会 本所・支所・事業所の所在地及び連絡先

〒068-0031 岩見沢市 11 条西 3 丁目 1 番地 9
岩見沢広域総合福祉センター内

- 事務局(総務課・地域福祉課) TEL 22-2960
- 居宅介護支援事業所 TEL 23-8224
- 訪問介護事業所 TEL 25-6229
- 相談支援事業所 TEL 25-6248
- つみき園 TEL 24-2810
- 岩見沢市成年後見支援センター TEL 35-5210
- 岩見沢市ボランティアセンター TEL 25-2516

●高齢者福祉センターふれあい TEL 23-7588
(〒068-0820 岩見沢市東山 2 丁目 1 番地 1)

●栗沢支所・栗沢デイサービスセンター TEL 45-4888
(〒068-0125 岩見沢市栗沢町南本町 30 番地)

●北村支所(毎週木曜日・午前中) TEL 56-2281
(〒068-1213 岩見沢市北村赤川 593 番地 1)